

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善(例)

【学 年】 小学校6年

【単元名】 We Can!2 Unit 4 “I like my town.” (8時間扱い)

【育成する資質・能力】

〔知識及び技能〕	〔思考力, 判断力, 表現力等〕
2 (1) エ(ア) 文 a 単文 (イ) 文構造 c 主語+動詞+目的語	2 (2) ア 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うこと。

【主な学習活動と留意点】

前単元からのつながり：語順を意識しながら、自分の好きな有名人について伝え合った。(Unit3)
 ・イラストカードを使って、英語と日本語の語順の違いに気付く活動を行った。
 ・自分の好きな有名人について伝え合った。

働かせる見方・考え方：相手に配慮し、情報を整理しながら考えを形成し、再構築すること。

時間	学習活動 (時間)	留意点
1	1 オリエンテーション (1) ・単元の内容とゴールを知る。 ・地域にあるものの言い方を知る。 ・We have / don't have ~.の表現に言い慣れる。	<div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; background-color: #f4a460; margin: 0;">単元の見通しをもつ場面</p> <p>☞ 教師がモデルを提示し、単元の終末に行う対話活動の内容ややり取りの方法について、児童が見通しをもてるようにする。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> <p>Lesson Goal : 自分の住む地域のよさについて、ポスターを作って伝え合おう</p> </div>
2 3	2 地域の名所や建物について、尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ (2) ・ミッシングゲームやカードを使ったゲーム等を行いながら表現の使い方を理解する。 ・ペアで地域のことについてやり取りをする。	<div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; background-color: #f4a460; margin: 0;">やり取りに必要な表現に慣れ親しむ場面</p> <p>☞ 語彙や表現に十分に慣れ親しむことができるようにする。</p> </div>
4 5	3 地域を紹介するポスターを作って紹介の仕方を考える (2) ・他教科や総合的な学習の時間で学んだ地域のよさについて、理由を含めて伝え方を考える。	<div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; background-color: #f4a460; margin: 0;">聞き手が「なるほど」と思える地域のよさを発見したり、それを表す表現を練習したりする場面</p> <p>☞ 友に伝えたときに、聞き手の賛同を得られる内容になるように、文の順番を整理し、まとまりを意識するようにする。</p> </div>
6 7	4 地域のよさを伝え合う (2) ・紹介ポスターを用いて伝える。 ・単元を振り返る。	<div style="border: 2px solid orange; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; background-color: #f4a460; margin: 0;">自分や友の学びを振り返る場面</p> <p>☞ やり取りの表現を大切にして対話活動を行い、地域に対する自分の思いを伝えたり、友の思いを受け止めて振り返ったりすることができるようにする。</p> </div>

次単元へのつながり：夏休みの思い出について伝え合う。(Unit 5)

- ・身近な内容で過去の出来事についての言い方を理解する。
- ・夏休みの思い出について伝え合う。